



大きな屋根の車寄せを備えた玄関

JR北上線相野^{あいの}駅前から約15km、延々と田舎道を走り、ほんとうにこの先に温泉があるのかと不安になる頃、ようやく一軒宿の三ツ又温泉にたどり着く。

開業は昭和35年(1960)。庶民志向の温泉宿として近郷近在の人たちを相手に営々と商いを続けてきたが、近年になって一度廃業しかけたことがあった。建物が老朽化していたことと、低温の源泉を加温するための燃料代の高騰で採算が取れなくなっていたためだ。

当時の経営者から廃業の相談を受けた地元の建設会社社長(親戚筋にあたる)が、地域のにぎわいを復活させたいという思いから個

廃業の危機から 奇跡的復興



みちのく

達人の旅指南 第57回

フリーライター 加藤隆悦

ココロとカラダの癒し旅

横手市山内

【木漏れ日の湯 三ツ又温泉】



一年の半分は雪の中という三ツ又温泉



平成20年の営業再開時に新設した露天付貸切風呂には野趣満点の露天風呂もつく



無色透明の弱アルカリ性単純泉

人で経営を引き継ぐことにした。その後、残念ながら新社長は思い半ばで他界されたが、ご子息が遺志を継いで代表者になり、現在の三ツ又温泉の姿になった。

営業再開を機に、毎分1000ℓという湯量豊富な新源泉を掘り当て、建物の修復、貸切風呂の新設、従来の冬期休業から通年営業への移行など、新生三ツ又温泉として生まれ変わったのだ。

一見袋小路のようなロケーションだが、山越えの道の雪が消えると東成瀬村と行き来が出来(例年5月末以降)、そのまま栗駒山麓を経て岩手県や宮城県とも通じる。そのためか、実は宮城県からのお客様がとても多いのだと言う。

イワナづくしの宿

三ツ又温泉の最大の特徴は、イワナ料理に力を入れていることだ。その力の入れ方も、並大抵のものではない。横手川の源流である甲山かとうやまの湧水を引きたいけすで、数万匹のイワナを稚魚から育て上



露天付貸切風呂「甲の湯」



露天付貸切風呂「三ツ森の湯」は3~5人向きの大きさ



げ、刺身用、塩焼き用など、使い道で分類して養殖している。いけすを見せてもらおうと相当な数のイワナが群れをなして泳いでいるが、これがすべて外部に出さずに自館で消費されるものだといふから、この宿のイワナ料理を目当てに訪れるお客も相当な数に上っているであろうことを実感できる。

身、つみれ鍋、塩焼き、「でんぐり」と名付けたフライなど、たいへん贅沢な内容。これに、山内特産のいものこ汁、手打ちそばなども付き、いかにも山の宿らしい、素朴で、かつ、もてなしの心が伝わってくる。ごちそうに、思わず顔もほころぶ。三ツ又温泉の湯とこれらの料理を目当てにはるる山を越えて宮城県からも多くのお客が訪れるというのも頷けるのだ。



イワナの刺身。養殖なので安心して食べられる



「でんぐり」は、でんぐりがえった形のイワナのフライ



イワナのつみれ汁

客室は全11室で定員22名。創業当初から増改築を繰り返してきたため、トイレなしの古いタイプの部屋や近年改装したトイレ付の部屋などが混在する。館内全体の造りもさながら迷路のようであり、昭和の小規模温泉旅館のレトロな雰囲気を楽しめる向きにはなかなか興味をそそられる宿だ。この規模の宿では珍しく露天付貸切風呂もあるので、家族や夫婦で水入らずの温泉浴を楽しんでみたい。



イワナの塩焼き



特産いものこの汁



イワナの焼きみそたたき



そばも地場もの。もちろん手打ち



昔の木造校舎のような階段 客室はシンプルな和室

イワナの養殖にかける情熱は
並々ならぬものがある



ふ化したばかりの
イワナの稚魚が
いけすの中で元気に泳ぐ

木漏れ日の湯 三ッ又温泉

MITSUMATA OONSEN

〒019-1104 秋田県横手市山内三又字甲79

TEL.0182-53-5100

<http://cs-mitsumata.co.jp/onsen>

お一人様(1泊2食付き) 9,500円より

(和室・1室大人2名様以上でご利用の場合/税・サ込)

【施設のご案内】

●収容人数50名様 ●客室11室・22名様
ご宿泊 ●和室大宴会場「三ッ森の間」(50
名様まで) ●和室中宴会場「甲の間」(25名
様まで) ●大浴場 ●貸切付露天風呂(甲の
湯・三ッ森の湯) ●駐車場30台まで

【三ッ又温泉最新情報】

4月からツインベッド+和室の和洋室タイプ
の部屋も設定。高齢の方や足腰の不自由な方
の宿泊にも好適です。

【地図】



山の湯宿の静けさを満喫

充実した設備や手厚いサービスの宿ももちろんいいが、たまには山の中の庶民的な小さな湯宿でのんびりと過ごすひとときも捨てがたい。その意味でも、三ッ又温泉が廃業を免れたのは幸いなことであつた。

この宿の繁忙期はゴールデンウィークと夏休み、それに紅葉シーズンだ。それらを避けてできるだけ空いている時期を狙って、静謐な山の湯宿の情緒に浸ってみたいもの。夏場であれば、三ッ又温泉に泊まりながら、山越えの道で東成瀬村に抜けて栗駒山麓のドライブや山歩きをするという楽しみ方もできる。

列車やバスを使った旅なら、横手駅かJR北上線相野々駅から羽後交通バス山内線で終点の三ッ又温泉入口下車。そこから宿までは徒歩で約1km。事前に申し出れば相野々駅(2名以上であれば横手駅も可)まで送迎もしてもらえる。

(文・写真IIかとつ・りゅつえつII秋田市)